

愛育

NO. 45
2021

発行／令和3年3月31日

編集発行／社会福祉法人

恩賜財団母子愛育会愛育推進部

〒106-8580

東京都港区南麻布5-6-8

TEL 03-3473-8315

URL <http://www.boshiaiikukai.jp/>



総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下よりのメッセージ

毎年、愛育班員全国大会に出席した折に、各地の様々な取り組みについてお話を伺ってまいりました。そのたびに、それぞれの地域ごとにおこなわれている特色あるご活動から、皆さまの熱意が感じられました。

しかし、昨年は全国大会の開催がかなわず、残念ながら、そのような機会に恵まれませんでした。感染症の流行の拡大により生活にいろいろな制約があるなかで、皆さまがどのようにお過ごしかと案じておりましたところ、先日、母子愛育会の愛育推進部から、各地の愛育班の様子についての報告を受けることができました。

この報告から、厳しい状況においても、班員が協力して工夫を凝らし、地域のために貢献をされていることを知り、大変ありがたかったです。マスクが不足して入手することができず困っていたときにはすぐにマスクを作り、マスクが行き渡るようになると、マスクケースを作り始めたときなどは、昨年の秋頃から、感染予防対策を徹底しつつ、何ができるかをいろいろと考え、子育て支援や親子の交流事業を再開されたところもありました。

愛育班活動の基本となっている「声かけ・見守り・話し合い」についても、こまやかな心遣いを感じられます。例えば、電話を使って連絡をとったり、インターホン越しに声かけをしたり、グループメールを活用して話し合ったりなどされているとの報告がありました。こうした感染症防止に配慮した取り組みから、地域の人々を思うお気持ちが伝わってまいります。

先が見えにくいこの時期、愛育班員の皆さまが、地域の子どもたちとその家族、若者たち、妊産婦や高齢者などの不安や悩みに耳を傾け、知恵を出し合い協力して活動されていることに、深く感謝いたします。

また、愛育班活動を導き支える保健師の皆さまは、困難を抱えたり、生きづらさを感じたりする人々にも寄り添ってくださっています。さらに、昨春からは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応に追われ、現在は予防接種の体制整備にも尽力されていると聞きました。大事な仕事に、心から敬意を表します。

日差しも明るさが増しております。皆さま、これからもお身体をお大切にお過ごしくださいませ。

恩賜財団母子愛育会総裁 秋篠宮紀子



春の庭にて



コロナ禍の中での愛育班活動調査結果



コロナ禍における各地の愛育班活動の現状を調査し、全国の愛育班員と共有して愛育班活動に活かしてもらうことを目的に行いました。調査は、メールで令和2年12月23日～令和3年2月2日の間に行い、1) 愛育班活動の現状(概要) 2) 1つ活動紹介①活動名②活動時期③活動内容④工夫したこと⑤苦労したこと、以上をお聞きしました。

124市町村より回答があり、回答率は96.9%でした。以下に結果をまとめました。

<調査結果のまとめ>

コロナ禍における愛育班活動(記載愛育班数)	工夫したこと	苦労したこと
1 話し合い(会議・総会) (141) ・役員会、理事会、班長会議、分班長会議 ・定例会、委員会会議、地区全体会議、班会議、総会	・役員会は回数減、書面、メールで ・会議は回数減、少人数、短時間で ・総会は書面開催、役員のみ、人数減、時期を変えて	・班員は中高年が多く持病がある方もいて活動方法を悩む ・感染拡大の波が何回かあり活動の見通しが立てづらく困った
2 地域の人々への声かけ・見守り (85) ・家庭訪問：赤ちゃん誕生おめでとう訪問、乳幼児のいる家庭、高齢者、気になる人、移住者等を訪問 ・民生委員と同行や援助の必要な方へ友愛訪問 ・家庭訪問以外：町中で会った時、インターフォンや玄関先で会話、電話、メール、手紙で	・訪問は検温等体調管理しマスクをして短時間で ・赤ちゃん訪問は保健師訪問時に愛育班員訪問をお知らせしておいてもらう ・除菌シートや手指消毒剤ごきばり退治団子などを配布しながらの訪問 ・一人暮らしの高齢者は電話で安否確認	・家庭訪問をするかどうか判断に迷う ・手紙とプレゼントをお渡しするのでポストに入らない日中お留守の家庭へは何度も訪問
3 子育て支援事業・親子交流事業 その①屋内活動 (71) ・子育てサロン、子育てサークル、こどもフェスタ、親子体操、ベビーマッサージ、親子あそびの会、秋まつり、クリスマス会、ひな祭り等 ・保健センターでの乳幼児健診時などに愛育班イベント開催や手作り品配布、母子手帳面接時にプレゼントなど ・学校、保育園や幼稚園を訪ね絵本の読み聞かせ、赤ちゃんとお遊ぼう、茶道教室開催など	・手洗い、少人数、マスク、食事中止 ・おもちゃ共有はなし ・会場や使用する物品の消毒徹底 ・換気に注意 ・プレゼントに手作りメッセージカード(裏に愛育班PR文入り)を添えた ・大人数にならない事前予約制で行う ・密にならない内容を考える ・感染症も補償される団体保険に加入した	・好評な手作りおやつ等の提供中止 ・おもちゃを多数揃えるのに苦労 ・事業再開すると出かける場所に困っていた家族に口コミで広がり参加家族が増え密に注意 ・案内チラシ配布も限られ周知に苦労 ・準備会場の公民館が借りられず会員宅で作業 ・換気のできる場所の確保に苦労
3 子育て支援事業・親子交流事業 その②屋外活動 (71中の11) ・親子で大根掘り、いも掘り大会 ・ゴミ拾いウォーキング、親子ウォークラリー ・ハロウィンイベント、幼児の遊びの教室 ・公園の見守り、公園でシールラリー ・保育園等で女性検診啓発、中学校で自殺予防啓発 ・あいさつ運動と健康づくり啓発 ・親子で島内山登り「秋の親子遠足」、ミニ運動会	・夏の畑は朝早や夕方の活動で暑さ対策 ・密を避けるために畑を区画整理する ・子どもはハロウィンコスチューム役員は公園の各所でスタンプラリーや自由遊び ・写真撮影頼まれた際スマホはビニール手袋をして行った ・各家庭で荷物を置くレジャーシート持参とし距離が密にならないよう見守る	・無農薬のためキャベツは青虫に食べられてしまった ・野菜の出来がよくなく不公平なく掘るのが難しい ・感染予防と熱中症予防に気をつけ実施する方法 ・様々な行事が中止の中どんな行事なら安全にみんなが楽しめてできるか案を出し合い決めるまで考え抜いた
4 行政との協働(母子保健・成人保健事業への協力) (38) ・がん検診、住民健診、献血等へ参加呼びかけや受付協力 ・乳がん・子宮頸がん・骨粗しょう症検診での託児保育 ・乳幼児健診・相談等における託児や計測の協力 ・ママパパ教室補助、市開催の子育て事業や学童保育に協力 ・町小学校的食育教育と協働したふれあい教室	・多くの方が検診を受診できるように実施方法を検討 ・検診申込用紙が見やすくなるようにレイアウトを協議 ・活動再開の前に会長等が健診現場を見て活動変更内容を確認、協力可能か判断し活動を始めた ・調理実習ではないふれあいながらの食育の方法を考えた	・移動手段のない方が受診しづらい ・がん検査等の容器を不特定多数の人が触らないよう検体提出する方法が難しい ・活動を計画しても中止になるのがつらい
5 健康づくり・介護予防・結核予防推進活動 (35) ・住民の健康づくり:健康教育、フレイル予防ポスター掲示、ケーブルTV活用、糖尿病・高血圧・大腸がん対策の地域特産品普及、健康サミット、55周年記念大会 など ・高齢者サロン、健康体操、ふれあい広場、グランドゴルフ ・結核予防普及啓発リーフレット配布、無農薬野菜と共に結核予防パンフレット配布、複十字シール募金活動	・食事はお弁当配布の形で ・愛育の温かい気持ちが伝わるよう健康づくり啓発掲示物を手作りバルーンアートで飾りにぎやかでアットホームな雰囲気 ・班員の健康づくりで無農薬野菜作りに挑戦し結核予防活動にも活かす ・広い場所を確保し地元のフラダンスチームが協力 ・街頭で声かけではなく結核の説明や募金の趣旨を書面で手渡す方法に変更	・「市内に感染者」で緊張が走り会議も中止で役員間コミュニケーションが難しい ・活動実施や中止の様々な意見が飛びかい「地域の健康のために」という同じ意識を持ち活動するための話し合いを重ねるのに苦労 ・感染予防のため参加者とゆっくりと話ができず残念だった

コロナ禍における愛育班活動（記載愛育班数）	工夫したこと	苦労したこと
6 愛育班組織の強化をめざす活動 (35) ・愛育だより、愛育会会報、愛育班のPRチラシや愛育会リーフレット作成 ・愛育会だよりなどを家庭訪問やポスティング、回覧板により配布する ・愛育だよりにより班員が心を込めて折った折り紙やその時期のおいしい地産のものを用いたレシピなどを共に配布 ・活動が中止になっても様々な機会において愛育班活動をPRし市民に理解してもらう	・母子愛育会総裁であられる皇嗣妃殿下より応援メッセージをいただいたことを「愛育だより」に掲載したことで活動への士気が高まる ・廃油石けん配布のふるさと祭り中止のため中学校に配布、それをケーブルテレビや市報で広報すると愛育班活動PRになり班員が活動に充実感を持てた	・イベント中止など愛育活動の意義を実感する機会が減り愛育委員自体の士気が下がってしまうことが心配 ・イベントが殆ど開催されず愛育の会報に掲載する内容に困った
7 班員研修会・住民との学習会 (28) ・集合しての班員研修会や学習会 ・書面資料やリーフレット・パンフレット配布の研修会 ・書面による愛育班員研修会 ・リーフレットやパンフレットの配布による学習	・会場については各施設のガイドラインに基づき感染予防対策 ・密を避けるために広い部屋へ会場変更 ・講師は町の担当職員に依頼、感染症対策や状況に応じ臨機応変に対応してくれた	・交代制のため今年度新班員は愛育会活動のやりがいを感じる場面少なくモチベーションがあがらない ・学習会のテーマを決めるも話し合いができないので苦労した ・グループワークや体験型学習予定だったが感染予防のため難しく断念 ・感染対策をどこまでするか分からない
8 新型コロナウイルス感染予防活動 (26) ・新型コロナ感染予防記事を回覧・配布 ・作成チラシ「感染予防・コロナ禍の注意」や「県感染防止緊急呼びかけ」を訪問にて配布 ・愛育会活動PRチラシに「こまめに手を洗おう」シールをセットして配布 ・コロナ対策啓発ポスター作成し全戸配布 ・3～4月のマスク不足の時期はマスク作成し妊娠届の妊婦、学童、小中児童、班員、障がい福祉サービス事業所、幼稚園、独居高齢者へプレゼント ・5月以降はマスクを配布しながらの声かけ訪問や愛育会会報とマスクの配布訪問。7～10月乳幼児健診時に愛育会手作りマスク（親子セット）配布 ・現在は手作りマスクケースやジップケース配布	・マスクは子どもの着用を想定し婦人サイズで作成 ・ゴム紐不足だったがお店の方に愛育の活動内容を話すと協力があつた ・親子3枚1組清潔にビニール包装 ・マスクを入れたビニール袋に愛育班活動の紹介チラシを貼った ・子どもの喜ぶ柄、妊婦がほっこりする柄で作成	・マスク作成はゴム紐不足で購入が難しかった ・マスク作成作業は大人数が集まっては行えず少人数で行った ・予算が限られている中の作業で沢山作ることができなかった
9 地域ニーズに対応した活動 (13) ・児童への見守り活動・小学校での朝のあいさつ運動（希望学校） ・調理実習（試食なし持ち帰り） ・障がい者福祉作業所を訪問しての掃除や利用者交流を手づくりマスクお届けに変更 ・古紙回収 ・公民館の清掃 ・地域の清掃活動 ・手作り味噌の材料の配布	・調理実習は参加者を2日間に分け料理はその場で試食するのではなく持ち帰る方法に変更 ・作業所訪問交流は手作りマスクお届けに変更 ・清掃活動など地域の担い手となっている活動であっても感染が落ち着き再開できるまであせらず待つこと ・いつもは集まって行う味噌づくりは材料と作り方レシピを配布して各自で作る	・中止にしている活動の再開をいつにするか悩む ・どこまで感染予防対策をすれば班員皆が安心して気持ちよく活動できるか悩んだ
10 ITを活用した活動の取り組み (10) ・連絡網にグループメール活用 ・母子愛育会のホームページ開設 ・会議にリモート利用 ・自宅のできる子どもとの遊び、子育てママ向け映画や動画紹介、声かけ ・「子どもが寝た後にグループライン電話」「ZOOM機能でオンライン忘年会」「子どもの月齢や地区など小分けしたグループラインを希望者でつくる」「ツイッターの活用」案を検討	・自粛期間中は活動中止のお知らせだけでなく自宅でもできる子どもとの遊びや子育てのママ向け映画や動画の情報提供や声かけを行った ・役員グループライン内で今、何かできることはないかアイデアを出し合っている ・オンラインで実施できる愛育班活動の様々な案を出し合い検討している	・本来開催するはずだった日に中止を知らない家族が来ても大丈夫のように班員が当番制で公民館で立っていた ↓ ・事業中止連絡を徹底するため市のホームページに掲載してもらう

- ❖ 会議や総会など話し合いを行ったという記載が最も多く、次に多いのは人々への声かけ・見守りでした。「声かけ・見守り・話し合い」が多くなされ、保健師の方々の支援のもと感染予防対策を徹底し、活動を再開していました。屋外での子育て支援・親子交流事業やITを活用した活動など新たな取り組みもなされていました。
- ❖ 愛育班員としてのやりがいを実感する子ども達や人々とのふれあいや会話が減り、活動へのモチベーション低下に苦慮されている状況もあります。一方、地域の方々は今まで当たり前のようになされていた愛育班員による「声かけ・見守り」がないことや子育て支援・健康づくり事業の中止という事態に直面し、改めて愛育班活動の大切さを分かってくれたという報告も多数ありました。

コロナ禍における愛育班活動のご紹介

調査で各市町村愛育班の多くの活動のうち、1つの活動をご紹介します。全ての市町村の活動写真を掲載できず申し訳ございません。



紙面文字数の都合上、愛育班名ではなく設置のある市町村名を記載してありますのでご了承ください

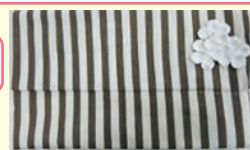
幸手市：マスク作成と寄贈



豊後高田市：マスク作成し卒園プレゼント



北茨城市：手作りマスクケース↑
川棚町：手作りマスクケース↓



- 3～9月：手づくりマスクをプレゼント
・所沢市・吉見町・幸手市・久喜市・甲斐市
・中央市・香美町・玉野市・宇佐市・豊後高田市
- 10月頃～：マスクケースづくり
・北茨城市・川棚町

吉見町：お誕生お祝いマスク

長瀬町：じゃがいも掘り

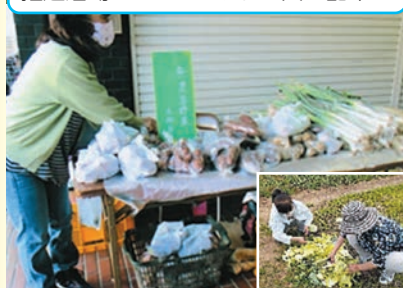


大野市：フォトウォーク（この写真ではありませんが参加者の撮影写真がフォトコンテスト最優秀賞に）



- 屋外での子育て・健康づくり支援事業（季節のイベント、野菜づくりと収穫、フォト散歩、結核予防推進活動とのコラボなど）：南相馬市・長瀬町・蓮田市・越谷市・大野市・小豆島町・丸亀市・琴平町・高梁市・竹田市

越谷市：無農薬野菜を作り結核予防推進活動のパンフレットと共に配布



小豆島町：秋の親子遠足



丸亀市：みんなあつまれウォークラリー

蓮田市：ハロウィンイベント



竹田市：ゴミ拾いウォーキング



琴平町：おやこ de あそび！運動会



- 子育て支援事業（親子交流会、親子のつどい、子育てサロン、季節のイベント、親子体操、ベビーマッサージ、料理教室など）：上尾市・入間市・小川町・ときがわ町・熊谷市・松伏町・丸亀市・三木町・坂出市・善通寺市・多度津町・太子町・豊岡市・丹波市・新庄市・勝央町・豊後大野市

小川町：親子で検温し母子交流会



豊岡市：子育て親子との交流会



入間市：あきまつり



丹波市：やまなみ縁日



ときがわ町：子育てサロンクリスマス会



熊谷市：クリスマス会ツリー



北杜市：子育て応援週間に保健センターでハートアート掲示

米沢市：愛育だより訪問配布



- 子ども達や妊婦さんへのプレゼントを愛育班活動紹介の手紙と共にお届け、赤ちゃん訪問など：米沢市・ふじみ野市・東松山市・滑川町・白岡市・北杜市・早川町・身延町・鳴沢村・東かがわ市・勝浦町・国東市
- 全戸訪問（消毒液やマスクを愛育だよりやストレスチェック表と共に）：雲南市
- 赤ちゃん訪問、プレゼント訪問：八峰町・城里町・婦恋村・小菅村・赤盤市・浅口市
- 声かけ訪問や声かけメモ、見守り活動（健康や安否確認）：石岡市・大月市・佐用町・知夫村・笠岡市・久米南町・豊後高田市



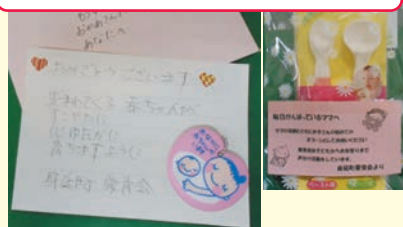
早川町：工作・塗り絵・折紙・ブロック等プレゼント



小菅村：スタイと牛乳パック椅子



身延町：初めてのスプーンプレゼントに手書きメッセージを添えて



国東を元気にする人 63

愛育会 会長 鹿島 三枝さん（写真中央）

（左写真）愛育会（右写真）愛育会（写真） 地域の皆さん

国東市：愛育会による「妊婦さんと子育て世帯」のための手作りマスク製作と各家庭への配布活動が市の広報に掲載



地域の皆さんの健康づくりのために活動する
武蔵町愛育会・OB会の皆さん

ふじみ野市：折り紙プレゼントと母子愛育会活動紹介チラシ



浅口市：お誕生プレゼント

はじめまして滑川町愛育班です

母子手帳を受け取ったみなさまへ

新型コロナウイルスの感染拡大で、不安な日々をお過ごしのことと思います。今回は、母子手帳を受け取ったみなさまへ、感謝の気持ちを込めて、滑川町愛育班からのプレゼントをお届けいたします。外装にマスクを入れる等、毎日の生活に役立ててください。

※愛育班とは・・・
赤ちゃんの成長を応援し、子育てで悩むようなときや、赤ちゃんの健康や安全を確認するために、地域の皆さんと協力して活動しています。また、赤ちゃんの健康や安全を確認するために、地域の皆さんと協力して活動しています。

問い合わせは
滑川町保健センターまで
☎0493-56-5330

滑川町：愛育班 PR お手紙便りとマスクケース



南アルプス市：愛育会PR通知全戸配布

- 愛育だより、愛育だより号外の作成と配布、愛育会活動PR、コロナ予防啓発ポスターや動画、防災など：潟上市・米沢市・伊奈町・羽生市・加須市・甲府市・昭和町・韮崎市・南アルプス市・三田市・岡山市・井原市・真庭市・鏡野町・観音寺市・三豊市・玖珠町



玖珠町：「コロナに負けない!元気なまち」ポスター作成し掲示

杵築市：廃油石鹸を作り中学校に贈呈



洲本市：いきいきサロン地元の方がフラダンス

- 介護予防・健康づくり事業（いきいきサロン・特産品で健康に）：洲本市・早島町・美作市

- 学校と連携した活動：飯能市・久喜市・笛吹市・杵築市
- 結核予防、複十字シール募金活動：鯖江市・越谷市・備前市・津山市
- コロナ支援訪問（子ども・高齢者・障害をもつ方に花の苗・消毒液・バスタオルなど愛育の手紙と）：上野原市
- 障がい者福祉施設奉仕活動：甲斐市
- 幼児健診協力・住民健診やがん検診受診声かけと申込協力や啓発：吉川市・南部町・益田市・瀬戸内市・総社市・矢掛町・美咲町
- むし歯予防活動：富士川町・忍野村・山中湖村・吉備中央町
- 千羽鶴折り：加須市
- 研修会・学習会：三郷市・市川三郷町・川西市・洲本市・和気町・倉敷市・里庄町・新見市・那賀町・まんのう町



久喜市：子育て体験学習赤ちゃんとおそぼ



上野原市：コロナ支援訪問手紙とプレゼントお届け

備前市：愛育委員手作りのお面を準備して、結核予防のパネル展示と募金活動



長崎県・大分県ブロック研修会 長崎県川棚町で開催 参加者数：57名

「長崎県・大分県ブロック研修会」を2月19日（金）に川棚町中央公民館・大分県庁会議室・母子愛育会愛育推進部を結び、リモートによる研修会を開催。山口文夫川棚町長および川棚町愛育班連合会矢継会長に歓迎のご挨拶をいただきました。愛育班活動紹介や「地域ぐるみの楽しい子育て・寝たきり予防・認知症予防は楽しい愛育班活動から」の部長講義、意見交換も行いました。

川棚町西・東・中部地区母子愛育班員と町保健師、大分県支部の杵築市山香愛育班と杵築市保健師、竹田市愛育保健推進員会、玖珠町愛育健康づくり推進協議会と玖珠町保健師、豊後大野市愛育会、大分県庁保健師の方々が参加しました。

大分県 玖珠町愛育健康づくり推進協議会の活動紹介

玖珠町は、人口14,992名、高齢化率38.25%（R2.11.30現在）、出生数71名（R1年）。健康づくり推進委員（愛育班員）数280名で、自分たちの健康は自分たちで守ろうというスローガンのもと6つの活動方針で活動しています。活動方針と活動は、(1) 愛育のこころを広めよう：地区持ち回りで創作健康劇を上演（ボランティア活動、地域の絆、健康の大切さ）、声かけでは健康管理に役立つ健診受診勧奨も行う(2) 心と体の健康づくりをすすめよう：地区文化祭での健康チェックや自治公民館での運動教室を開催(3) からだを動かそう+10運動：地区の特徴を活かしたイベントを開催、ウォーキング大会で語り部に地域の民話を聞き地域の歴史を学ぶ(4) 食を見直そう、野菜を摂って減塩しましょう：栄養教室開催、ロングテーブル開催(5) 認知症を予防し、安心して暮らせる地域づくりについて学ぼう：健康劇で徘徊の高齢者対応を訴え、認知症を気軽に話せるオレンジカフェをオープン、笑いも大切に心の栄養講座で落語を聞く(6) 身近な環境美化に取り組もう：次世代にきれいで安全な環境を残すため、生活排水による水質汚染の学習やごみ分別学習会、地区内を歩きごみも回収する、などを行っています。

課題は、①高齢化・過疎化で健康づくり推進委員の選出が難しくなっている②健康づくり推進委員は自治区からの推薦で選出されているが、活動の在り方に差が大きい③行事への参加者の減少④コロナ禍や災害等で今までの手法での行事が難しい等です。世代や時代に合わせた見直し、変換の時期となっています。

長崎県 川棚町母子愛育班の活動紹介

R2年度で45周年を迎えた班の発足に尽力した第一人者は、山口町長であると紹介がありました。現在、班員211名で地域に密着した活動を行っています。

活動の柱は、未就学児を対象とした子育てイベントの計画と実施、歯ブラシ配布、健診の声かけ・手伝い、高齢者サロンや介護予防事業のサポートなど。子育て中のお母さんの要望から生まれた愛育・食育フェスティバルは、15周年を迎えました。（令和2年度は開催できず）子ども用品のバザー、お手玉など昔遊び、モグラたたき、ピザフリスビーなど手作りゲームコーナーは大変好評です。愛育班員も子ども達と一緒に笑顔がこぼれるフェスティバルとなっています。

愛育班活動の中心は声かけ訪問。町民約14,000人全員が愛育班会員になっており、声かけは会員も対象。各地区の持ち回りで班員活動に参加される人も増え、仕事をしながらの活動は時間の制約多く訪問活動のハードルが高いとの声もあります。

そのような中、日頃の生活の中での声かけ活動を寸劇にて発表。

○第1話 ある朝ゴミステーションにて：高齢者がゴミ捨てが1人では難しくなってきた→愛育班員が声かけして一緒にゴミ捨てることで高齢者は安心

○第2話 お散歩途中：家に帰ろうと思ったけどどこかわからん→これから

もわからんとどがいしょんか→愛育班員が一緒に行くからとの声かけで安心

温かい方言の入った名演技に、ほっこりでした。今年度は、コロナ感染症拡大防止に努め活動は制限しましたが、何ができると前向きに話し合い、会員同士の親睦も重ねてきました。これからも会員一人一人が自分のできるときにできることをモットーに、協力して笑顔で活動していくことができたいと思っています。



勝浦町「ビッグ
ひな祭り」開催
中でした



ご挨拶

野上
勝浦町長



小山
会長



愛育推進部
山田部長・南條係員

会場風景 ソーシ
ャルディスタンス
は万全です！



中角愛育班福山班長
より活動紹介



例年のふれあい教室
～楽しい調理実習～



配布物
(令和2年7～8月配布)

- ・楽しく食べて元気な子 (食育スタートブック)
- ・みんなで食べよう楽しい食事 (食育シールブック)
- ・すぐわかる！熱中症対策 (パンフレット)
- ・熱中症対策クールな多目的タオル
- ・バンドが付いたひんやりなアニマル保冷剤

福岡班長
より活動紹介



あかいもの会で手芸や
お餅づくり



まごころ
サービス
お弁当
づくり

徳島県・広島県ブロック研修会 徳島県勝浦町で開催 参加者数：28名

「徳島県・広島県ブロック研修会」を2月22日(月)に勝浦町農村環境改善センター・母子愛育会愛育推進部を結び、リモートによる研修会を開催。

野上武典勝浦町長および勝浦町愛育班連絡協議会小山会長に歓迎のご挨拶をいただきました。愛育班活動紹介や「地域ぐるみの楽しい子育て・寝たきり予防・認知症予防は楽しい愛育班活動から」の部長講義、意見交換も行いました。

勝浦町各地区の愛育班員と勝浦町福祉課保健師、那賀町北川愛育班員と那賀町保健センター保健師の方々が参加しました。広島県尾道市の愛育会は、欠席となりました。

徳島県 勝浦町愛育班の活動紹介

勝浦町の人口は5,108人で減少傾向にあり、高齢化率43.2%、出生数16人です。

愛育班は昭和49年結成され、20年間で全部の行政区につくられました。やる気満々の野上町長のもと、住みよい町、健やかな生活が続けられるよう活動しています。コロナ禍の今年度は少ない活動ですが、がん等の検診・インフルエンザ予防接種の声かけや通知の取りまとめを行いました。高齢の方とは身体の調子を話し、住民の方の要望も知りたいと思いました。お会いした方々は、愛育班員と話ができてよかったと言ってくださいました。話の内容により、行政へ繋ぎました。

親子を対象としたふれあい教室は、例年実施の調理実習は難しく食育関連パンフレット冊子と親子でつくるおやつプレゼントの訪問配布に変更しました。「こんにちは愛育班です。私たちは行政と連携して地域の未来と健康づくりに取り組んでいます」のメッセージと共に届けました。集めさせていただいた会費をどう有効に使っていくか考え、マスク等を全戸に配布する活動も行いました。

これらを通してすごく負けない心になり、愛育のこころと思いました。自分が体験したエピソードから、声かけの大切さを改めて実感し、1人での高齢者や子ども連れのお母さんに声かけをする大切さを話してくれた班長もおります。

課題としては、一人暮らし、高齢者世帯の方々など地域の実情に合わせた活動もあることです。愛育の心は、人々の心を動かし、潤いをもたらす活動であり、活動が継続されるようやっていきます。

徳島県 那賀町北川保健愛育班の活動紹介

北川保健愛育班は、昭和53年発足。その当時、活動発表者のお母さんも入っていました。現在は、5班編成15名で活動。「研修会」「あかいもの会」など地域の交流の場として重要な役割を担っています。コロナによって町全体の活動はできていませんが、今年度の「研修会」テーマは～介護～で、1回目は、町地域包括支援センター主任介護支援専門員に「介護現場の状況やサービスの実際」の話を聞き、午前中は減塩の調理実習と試食を行いました。保健師に尿中1日推定塩分量の測定をしてもらい、食事記録をもとに自ら食事に含まれる塩分量を計算し、尿中推定塩分量と突合させる学習も行いました。

地域の人達のコミュニケーションの場をつくりたいと思い、愛育班活動と併合してボランティアの会「あかいもの会」を作り、手芸や染め物などみんなの得意な物作りで交流したり、80歳以上の方に月に1回お餅やお寿司を配食しています。「まごころサービス」では、お節句に80歳以上の方に「まごころ弁当」を配っています。

愛育班は、班員も高齢になって班員の数も減っています。若い人を誘っても世代間の壁みたいなものがあり、入ってくる人を探すのも難しい現状になりました。ボランティア活動は、自分の健康を意識してもらいながら楽しく工夫して自分たちでやっていきたいと思っています。

★愛育推進部：それぞれのブロック研修会においては、上皇后陛下が天皇陛下をお育てになられた頃に御作曲され母子愛育会に賜った「おもひ子」の歌が流されました。CDブック「皇后陛下美智子さまの子守歌 おもひ子」も紹介しました。

～令和3年10月に規模縮小の第53回愛育班員全国大会を予定しています～

令和3年度愛育班員全国大会は、開催予定を7月から10月に変更いたします。新型コロナウイルスの感染拡大はまだ予断を許さない状況のため、表彰式を中心として特別講演や交流会は行いません。そのため、一般の愛育班員の方々の参加募集はいたしません。開催を楽しみにされていた皆様には誠に申し訳ございませんが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

～令和3(2021)年度の愛育班長・愛育班等組織育成者研修会は中止します～

この2つの研修会は、班長研修では「学びに年齢はなく若返った」、育成者研修では「全国の保健師と交流し成長できた」等、好評を得ております。令和3年度は、開催時期が延期された東京五輪・パラリンピックと重なるため中止とします。令和4(2022)年度からは、2つの研修会を隔年で交互に開催予定です。開催の際はご案内しますので、ぜひご参加ください。

愛育班活動にお役立てください

愛育班員手帳2021

愛育班員手帳の2021年版は祝日が訂正済みのため使いやすいと好評です。残部ありますので、お申込みください。

<内容>

- 「愛育班員の証」、「愛育班活動の基本」、「ダイアリーとメモ」等で構成されています
- 定価550円(税・送料込)



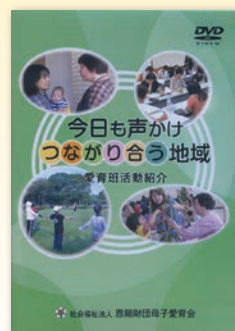
愛育班活動紹介DVD

『今日も声かけつながり合う地域』

愛育班活動の歴史、基本的な活動、愛育班全国大会や各種研修会の様子も盛り込んだ内容となっております。

愛育班研修会等で上映され反響があったと報告がありました。

- 定価1,000円(税込)
- 約26分
- 送料1枚180円



愛育班員バッチの販売

- 定価 500円
(税・送料込)



お申込・お問い合わせ先

社会福祉法人恩賜財団 母子愛育会愛育推進部
TEL 03-3473-8335 FAX 03-3473-8454

愛育推進部より

昨年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会を中止するお知らせと共に、愛育と行政(保健師)の皆さまが知恵を絞りができる範囲の活動をしているという報告がありました。その後、「集まって顔を合わせ話合っ」てという活動が思うようにできない中、各地でどのように工夫して活動を行っているかを知り自分たちの活動に役立てたいという声も多く寄せられました。そこで、『コロナ禍における各地の愛育班活動』の現状調査をお願いし結果を掲載いたしました。回答いただいた全文は掲載できないため、詳しく知りたい場合は、愛育推進部にお問い合わせください。調査へのご協力ありがとうございました。(山田・南條)



あかべこ(マスク姿)
会津地方郷土玩具
子どもの魔避けと
して用いられる

総裁からメッセージをいただきました

令和3年3月、総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下へ「コロナ禍における愛育班活動」調査結果をオンラインでご報告した際に、羽田理事長から機関紙「愛育」にメッセージをいただきたくお願いをいたしましたところ、お届けいただきました。

なお、メッセージに載せられたお写真は、総裁がお庭に植えられたチューリップの球根が、メッセージをご執筆中にきれいに咲き始めたことをご覧になって、自らお撮りになられたと伺っております。

愛育班員及び愛育班活動を支えてくださる皆さまへ、温かいお気持ちが込められていることが伝わってまいります。